

出雲市中小・小規模企業振興モデル事業の実施状況について

1. 事業の概要

市内の企業経営者等で構成されるワーキンググループ（WG）が主体となり、市内中小・小規模企業が成長・発展していくためのモデル事業を提案・実施することにより、企業自らが課題に取り組む仕組みづくりや今後の中小・小規模企業の振興施策に活かしていく。

【提案するテーマの例】

- ① 地域内での資金循環の促進 ② 生産性向上に向けた I T 化等の促進
③ 経営者の意識・行動改革と多様化する働き方への対応 ④ 人材確保支援
⑤ 事業承継の支援・第二創業の推進

2. 令和元年度に実施した事業について

WG 名	事業目的	事業内容（概略）
神門通りうさぎプロジェクト	商店街の自主財源確保と持続可能な仕組みづくり	○商店街組合員の役割分担や体制の検討 ○独自商品の開発に向けた検討
斐川特産協会	生産者共同による地域産品の商品力・情報発信力の強化	○特産協会の活性化方策の検討 ○デジタルツール（YouTube）を活用した情報発信の検討
空き家再生WG	空き家再生による移住・定住の促進と空き家の商業利用の拡大	○市民参加型空き家改修ワークショップ、モニターツアーの開催 ○空き家の商業利用に関する課題抽出と解決策の検討
I T による生産性向上WG	I T を活用した生産現場の生産性向上と技術の伝承	○動画ツールを活用した食品製造現場での課題抽出と解決策の検討

※ 最長 3 年間、事業の継続が可能 ⇒ 上記 4 WG は、今年度も事業を継続する

※ 各事業の詳細は、次頁以降を参照

3. 令和 2 年度事業について

(1) 新規募集件数

2 件程度（予算額：2, 0 0 0 千円）

(2) スケジュール

5 月 1 1 日：募集開始

6 月 2 2 日：募集締切（事業計画書及び収支予算書の提出）

7 月上旬：出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議において審査

事業承認後：事業開始

2 月末：事業完了

3 月下旬：出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議において事業報告

令和元年度実施事業 ①

WG名	神門通りうさぎプロジェクト			
WG構成員	日本ぜんざい学会壱号店 代表 田邊 達也 外3名			
事業名	ブランディングによる商店街振興の仕組みづくり			
事業概要	出雲大社に縁の深い「うさぎ」を新たなコンテンツとしてブランド化し、街歩きを兼ねた地域商品を開発することにより、商店街の自主財源を確保する収益モデルを構築する。			
令和元年度 実施内容	・商店街の実施体制づくり ・独自商品開発に向けたシンボルマーク「出雲うさぎ」の制作及び商標登録 ・WG活動の認知度向上に向けた福袋販売、スタンプラリー開催 ・うさぎモニュメントの設置			
令和元年度 事業成果	・商品開発、販売促進、広報等の役割分担の明確化により、一体感を持った商店街活動を展開できる体制づくりができた。 ・シンボルマーク「出雲うさぎ」の制作やうさぎモニュメントの設置により、商店街全体の意識共有と独自商品開発への意欲向上につなげることができた。 ・「出雲の日」に併せて開催したスタンプラリー等に若手事業者が積極的に参画することで、人材の育成につながった。			
令和2年度 事業計画	・シンボルマークを用いた商店街独自商品の開発 ・着地型旅行のコンテンツとなり得る有料ガイドブックの作成 ・うさぎモニュメント設置、うさぎ商品の造成の働きかけ			
事業費	令和元年度 (実績)	令和2年度 (計画)	令和3年度 (見込)	計
	841千円	530千円	—	1,371千円



シンボルマーク入り福袋



うさぎスタンプラリー



うさぎスタンプラリー 抽選会場



ワーキング会議

令和元年度実施事業 ②

WG名	斐川特産協会			
WG構成員	有限会社宍道湖 取締役 原 秀範 外3名			
事業名	地域の特産品を活用した出雲ブランドの確立			
事業概要	生産者の共同及び道の駅との連携により、文化・歴史・観光・宿泊等と関連づけた特産品の商品販売力や情報発信力の強化を図る。			
令和元年度 実施内容	・斐川地域の認知度向上、特産品の情報発信力強化等に向けた、会員向けワークショップやアンケートを実施 ・PR動画の制作及びY o u T u b eによる配信 ・QRコード付きミニチラシの制作及び市内外各所への配置			
令和元年度 事業成果	・『斐川地域の特産5資源（しじみ、出西生姜、温泉、トマト、米）を中心に商品開発や商品力向上を図り、会員連携により有効な情報発信方策を検討する』という活動の方向性を確認した。 ・初めて取り組んだPR動画の制作の過程で、今後取り組む情報発信手段として、会員の意識共有を図ることができた。 ・動画を見てもらう方策の重要性を認識した。			
令和2年度 事業計画	・PR動画や独自キャラクターのブラッシュアップと視聴数増加に向けた方策の検討・実施 ・商品力向上や新商品開発及び情報発信力強化に向けたワークショップの開催			
事業費	令和元年度 (実績)	令和2年度 (計画)	令和3年度 (見込)	計
	951千円	500千円	500千円	1,951千円



ワーキング会議



会員向けワークショップ写真



ひいばあちゃん YouTube 動画アフレコ



ひいばあちゃん YouTube チャンネル

令和元年度実施事業 ③

WG名	空き家再生WG			
WG構成員	有限会社伊藤製材所 専務 伊藤 晃章 外2名			
事業名	空き家利活用による移住・定住の促進とビジネスユースの拡大			
事業概要	市民参加型のワークショップや居住及び商業利用の希望者を対象としたモニターツアーを実施し、空き家活用のニーズの掘り起こしを行う。また、空き家の効率的な利活用に向けた仕組みを構築し、新規創業や移住・定住の促進を図る。			
令和元年度 実施内容	・市民参加型空き家再生ワークショップの開催 ・学生向けシェアハウスモニターツアーの開催 ・空き家の商業利用に向けた検討			
令和元年度 事業成果	・残置物撤去や小修繕作業を行った空き家再生ワークショップの様子をSNSで発信したところ、商業利用したいとの申出が数件寄せられた。 ・シェアハウスモニターツアーでは、県立大学出雲キャンパスの学生に雲州平田駅前の空き家を紹介し、「住んでみたい」との一定の利用ニーズがあることを把握できた。			
令和2年度 事業計画	・地元の工務店や大工などの参画による安価な空き家改修の仕組みの検討・実施 ・空き家情報の収集方法の検討と利用希望者とのマッチングの仕組みの検討 ・空き家再生ワークショップの継続開催による情報発信 ・シェアハウスの利用に向けた改修の実施			
事業費	令和元年度 (実績)	令和2年度 (計画)	令和3年度 (見込)	計
	121千円	300千円	300千円	721千円



空き家再生ワークショップ募集チラシ



空き家再生ワークショップ



シェアハウスモニターツアー募集チラシ



シェアハウスモニターツアー

令和元年度実施事業 ④

WG名	I Tによる生産性向上WG			
WG構成員	有限会社田中豆富店 代表 田中 章一 外3名			
事業名	生産現場における動画による作業改善 I Tツールを活用した生産性向上事業			
事業概要	生産現場において動画による作業改善ツールを活用し、現場作業の改善、生産性向上に向けた検討を行う。			
令和元年度 実施内容	・動作分析したい工程の映像をリストから選択してスピーディに表示させる機能や異なるアングルの映像を同調して再生させる機能を持った作業改善ツールの開発 ・店舗・生産現場でのツール活用の実証 ・ツールを活用した社内研修会の開催			
令和元年度 事業成果	・ツールの活用により、作業動線が客観的に「見える化」され、短期間で動作分析、課題の発見・共有ができた。 ・製造担当と店舗担当という異なる立場のメンバーが同じ目線で意見交換する機会ができ、改善に向けた意見の集約や意識の統一が図られた。			
令和2年度 事業計画	・I Tツールの機能のブラッシュアップ ・他業種の生産現場でのツール活用を検討・実証 ・社内研修会等を通じた作業改善の取組の継続			
事業費	令和元年度 (実績)	令和2年度 (計画)	令和3年度 (見込)	計
	660千円	700千円	1,000千円	2,360千円



作業動画撮影



ワーキング会議



事例発表会



作業改善 IT ツール